



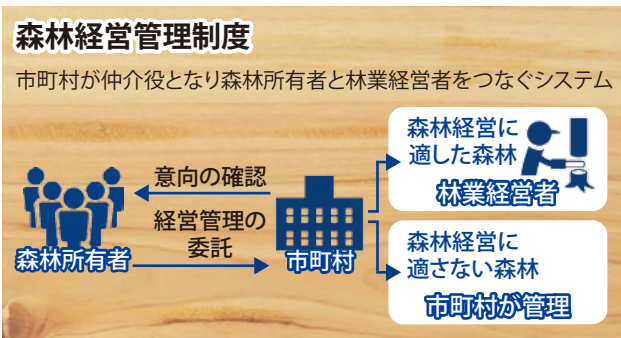
シロモチくんとみすぎんが語る津市政 vol.38

豊かな森林を未来に残すために ～経営管理の意向調査を進めています～

令和元年度からスタートした森林経営管理制度。森林を所有している皆さんに対して行っている森林管理の意向調査の状況や、津市が委託を受けて間伐を行っている状況を、シロモチくんが森の妖精みすぎんに尋ねました。

森林経営管理制度をおさらい

- みすぎん、森林経営管理制度ってどんな制度なんだっけ？**
市町村が森林を持っている人に今後の管理についての意向を聞いて、委託を受けて管理したり、林業をやっている人に再委託したりして、効率的な林業経営や適切な森林の管理を促進していこうって制度だよ。
- そうだったね。でも、どうしてこの制度ができたの？**
森林の管理は、苗木を植え、下刈りや枝打ち、間伐をして育てた木を伐採し販売する。そして再び山に苗木を植えるという仕組みを保っていくことが大事なんだ。森林は木材が採れるだけでなく、山崩れを防いだり、水を蓄えて洪水を防いだり、水をきれいにしたり、二酸化炭素を吸収して地球温暖化を防止したりする効果もあるんだよ。だけど、木材の価格の低迷などで林業をする人が少なくなってきて、みんなの暮らしに欠かすことができない森林をみんなで守っていこうと、この制度ができたんだ。



回答者の65%が委託を希望

- 制度がスタートして、市内に森林を持っている人に今後の森林の管理をどうしたいかって聞いているんだっただよね。どんな感じで進んでいるの？**
令和元年度は芸濃地域、令和2年度は美杉地域、令和3年度は白山地域の一部と一志地域に森林を持っている人に意向調査票を送ったんだ。令和4・5年度は、白山(未送付地域)・久居・美里・安濃・河芸・津地域に森林を持っている人に、順次調査票を送る予定だよ。
- どんな回答が得られているのかな？**
令和元年度と2年度で7,315人に送って、3,780人(52%)から回答があったんだ。残りの48%は、宛先が不明で調査票が届けられていない人や調査票は届いたけど回答をしてもらっていない人だね。回答があった人のうち、複数ある森林の一部を希望するっていう人なども含めて65%の人が委託を希望しているよ。

